



# ささえあい

志布志市社会福祉協議会 検索

平成 23 年 11 月 25 日発行

第35号

写真

原田校区秋まつりにて (原田小学校) にて



若者が  
ゴミ出し加勢  
してくれる  
志布志町 福山 吉連

無事ですと  
灯りをつける  
隠居部屋  
志布志町 橋口 笑二

ありがとう  
妻の手を借りる  
貼り薬  
有明町 高田 輝秋

親の逝った  
歳を迎えて  
子は悄える  
有明町 野口 嵐

ヘルパーさん  
回り明るく  
笑みを撒く  
有明町 土橋 純香

二百十日  
過ぎて安堵の  
お爺さん  
志布志町 鞍掛 五雄

## ・第6回 志布志市福祉大会開催

- ・平成 23 年度 志布志市福祉作文・絵画コンクール入賞者発表、作品紹介
- ・そば作り体験しませんか。ペットボトルキャップ集めています。



第6回

# 志布志市社会福祉大会

住みやすい・やさしい・福祉のまちづくりをめざして  
～志のまち志布志市～



多くのメディアに出演！

平成23年

12月3日(土)

【受付】 8時30分～  
【会場】 志布志市文化会館

## 記念講演

演題

『大地震から家族を救う方法』

～東日本大震災・現地の取材をふまえて～

わだ たかまさ  
**和田 隆昌氏**

(有限会社ブロードキャスト代表)

～阪神淡路大震災直後のボランティア経験があったことから災害危機管理アドバイザーに。公的機関に頼らない民間における防災・危機管理を提唱し、誰もがわかりやすく、その日から実践でき、かつ本当に役に立つ災害危機管理をお伝えします。～

### 主な内容

- 9:30 オープニング「俵踊り」俵踊り保存会
- 10:00
  - ・社協会長表彰・福祉作文／絵画コンクール表彰
  - ・8020運動表彰
  - ・志布志市地域包括支援センター愛称表彰
- 10:40 福祉作文朗読（最優秀賞作品）
- 11:10 記念講演 和田隆昌氏  
『大地震から家族を救う方法』  
～東日本大震災・現地の取材をふまえて～



※先着500名様に花の苗をプレゼント!

主催：社会福祉法人 志布志市社会福祉協議会 共催：志布志市

後援：志布志市民生委員児童委員連絡協議会／志布志市母子寡婦福祉会／志布志市手をつなぐ育成会／志布志市地区社会福祉協議会  
志布志市更生保護女性会／志布志市ボランティアセンター運営委員会／志布志市老人クラブ連合会／志布志市身体障害者連絡協議会  
志布志市校区公民館連絡協議会／志布志市地域女性連絡協議会／志布志市教育委員会／志布志市NPO等連絡協議会  
志布志市びろうの会／志布志市保護司会

お問い合わせ

志布志市社会福祉協議会 ☎ 472-1800 / 473-0294

# 第6回 志布志市福祉作文・絵画コンクール入賞者発表

(敬称略)

## 福祉作文

### 小学生低学年の部 (1～3年)

## 福祉絵画

区分	学校名	学年	氏名	作品名	区分	学校名	学年	氏名	作品名
最優秀賞 (1名)	松山小学校	1年	上田 真慈	わたしのおとうと	最優秀賞 (1名)	潤ヶ野小学校	1年	新地 和真	おじいちゃんとカブトのようちゅうさがし
優秀賞 (2名)	山重小学校	3年	川野 莉央	おばあちゃんのとつくん	優秀賞 (2名)	潤ヶ野小学校	2年	山尾 晃一	おじいちゃんと牛のせわ
	伊崎田小学校	2年	菅田 芽生	やさしい おじいちゃん		有明小学校	3年	田代 琉	げんきモリモリじいちゃん
佳作 (3名)	安楽小学校	3年	諏訪 颯士	手話教室	佳作 (3名)	野神小学校	3年	横峯 瑚夏	じいちゃんとかぼちゃとり
	野神小学校	1年	原添 琳生	おばあちゃんとビーズづくり		尾野見小学校	2年	金井 優	おばあちゃんといっしょにごはん
	有明小学校	2年	高原 雛子	おじいちゃんへのプレゼント		原田小学校	1年	五代 彩花	大すきなおばあちゃん

## 福祉作文

### 小学生高学年の部 (4～6年)

## 福祉絵画

区分	学校名	学年	氏名	作品名	区分	学校名	学年	氏名	作品名
最優秀賞 (1名)	有明小学校	5年	八重 幸成	笑顔を届けよう	最優秀賞 (1名)	志布志小学校	5年	肝付 樹音	車イスにすわっているおばあちゃん
優秀賞 (2名)	通山小学校	5年	木迫 大翔	今年もがんばるよひいばあちゃん	優秀賞 (2名)	山重小学校	6年	牧 素成	おばあちゃんの畑仕事
	香月小学校	4年	甲斐 愛大	だれかの役に立つ自分に		伊崎田小学校	5年	脇原 龍也	牛の世話
佳作 (3名)	松山小学校	4年	野村 風光	おじいちゃんのやさしい声	佳作 (3名)	伊崎田小学校	4年	中川あゆら	おばあちゃんとおはぎ作り
	泰野小学校	6年	大峯亜梨沙	枕元の手紙		山重小学校	4年	若松 凜	竹ではし作り
	尾野見小学校	5年	有川 大翔	新しい家族		泰野小学校	6年	田口 唯	おばあちゃんたん生日おめでとう

## 福祉作文

### 中学生の部

## 福祉絵画

区分	学校名	学年	氏名	作品名	区分	学校名	学年	氏名	作品名
最優秀賞 (1名)	志布志中学校	3年	若松 佳世	将来の夢	最優秀賞 (1名)	伊崎田中学校	3年	野崎 愛理	ひいばあちゃん
優秀賞 (2名)	宇都中学校	2年	木場亜理沙	障害を身近にして	優秀賞 (2名)	志布志中学校	1年	長谷川美優	おばあちゃんの介護
	伊崎田中学校	1年	菅野しおり	福祉体験をとおして		松山中学校	3年	宮地花菜子	絆 (きずな)
佳作 (3名)	出水中学校	1年	新地 怜奈	「また来てね。」	佳作 (3名)	志布志中学校	1年	梅木 美琴	私のおじいちゃんおばあちゃん
	有明中学校	3年	海江田実優輝	命		松山中学校	1年	山口 麗	私たちにできること
	松山中学校	2年	大原 円香	ボランティアに参加して		宇都中学校	1年	西高 沙希	みんな笑顔で

## 福祉作文

### 学校賞

## 福祉絵画

区分	学校名	区分	学校名
小学校	松山小学校	小学校	伊崎田小学校
中学校	志布志中学校	中学校	松山中学校



最優秀賞

小学生低学年の部



志布志市立  
松山小学校 1年

上田 真慈さん



べます。ところが、かんでんがおさらからなくなるとすぐおこつてなきだします。また、かわりをあげるとすぐになきやんで、おいしそうにたべます。

あるひ、おかあさんが、「はるきをみてね。」といいました。はじめはふたりでてれびをみていましたが、だんだんはるきのきげんがわるくなつてなきだしました。おかあさんをさがしていました。わたしは、もしかしたらうんこかなとおもいました。おむつのなかをちよこつとのぞくと、やっぱりうんこでした。はじめてだけれど、はるきがなくのでおむつをかえようとおもいました。はるきは、じつとしていません。わたしは、あしでぎゅつとはさみうごかないようにしました。すると、はるきは、おとなしくなりました。おむつをこうかんにして、きたないおむつは、くるくるまいててえぶでとめてすてました。きもちがよくなったはるきは、また、てれびをみていました。しばらく

わたしには、四さいしたのおとうとがいます。なまえは、はるきといいます。のどのびようきで、しゃべれませんが、ごはんもまだたべれません。いつもは、みるくをはなからちゅうぶでいれています。でも、くちからたべられるしゅうもしていません。おかあさんのつくったぎゅうにゅうかんてんを、すぶうんで、わたしがまいにちあげています。くちのところまでもつていくととりみたいにくちをおおきくあけて、にっこりえがおでた

して、おかあさんがかえつてきました。わたしが、「おむつかえたよ。」というのと、びっくりして「ありがとう。」といつてくれました。わたしにもできるんだとおもいました。はるきは、ことばがはなせないけれど、よくみています。おこつているときは、くちをぶうぶうとします。おなかですいているときは、ほこ

うきにじぶんからのります。ねむたいときは、ばすたおるをにぎつて、くちをむにやむにやしています。だから、わたしは、こんなかわいいおとうとはるきが、だいすきです。



最優秀賞

小学生高学年の部



志布志市立  
有明小学校 5年

八重 幸成さん



ちゃんは、「幸成が生まれた時は、こまんちっせえ、むじかつたど。今じゃふつなつたどんね。」とお返しに昔の話をいっぱい聞かせてくれる。そんなひいおばあちゃんのおしやべりの時間がはるきは大好きだ。楽しいおしやべりの時間も

「笑顔を届けよう」

ほくのひいおばあちゃんは、今年で九十二才だ。ほくが生まれたころは、まだまだ元気で、ほくたち兄弟のめんどうを見てくれていたやさしかったひいおばあちゃんも、今では身の周りのことがじぶんではできなくなり、有明の小松の里に入所している。おみまいに行つて、「ひいおばあちゃん、会いに来たよ。」とベッドに近づいて声をかけると、「幸成か、きてくれたとね。」とシワシワの笑顔で喜んで、ほくの手をにぎる。だから、ほくはベッドの横にすわつて、学校であつたことや友だちのことをいっぱい話す。すると、ひいお

ちゃんも、「だめだよ。そんなこと言っちゃ。」とひいおばあちゃんの手をギュッとにぎつた。すると父が、「その台詞を何年言つてるけ。」と言つて指を折りながら、「十二年目じやらい。」と笑う。ほくが生まれる前からひいおばあちゃんはその事を思っているのかと考えるとますます悲しくなる。

でも、体の事を気づかない、身の周りのことをしてくださる小松の里のみなさんがいる。ひいおばあちゃんのことを大好きなほくたち家族がいる。ひいおばあちゃんの周りは、いつも思いやりでいっぱいだ。そんなことに気づいたほくは、

## 最優秀賞 中学生の部



志布志市立  
志布志中学校 3年

若松 佳世さん

「みんなひいばちゃん元気な顔が大好きなんだよ。だから、もっともっと長生きしてね。」とにぎっていた手に力をこめて言う。すると、ほくの大好きないつものシワシワの笑顔で喜んでくれた。

ほくには、まだまだ大きなことはできないけれど、ひいばあちゃんの笑顔が少しでもたくさん見られるように、いっぱいおしゃべりして心を元気にしてあげたい。ひいばあちゃんが悲しい気持ちにならないように、今度の休みは自転車でお松の里にでかけてみようと思う。「ひいばあちゃん、会いに来たよ。」ってほくの元氣と笑顔を届けに。



### 「将来の夢」

私の将来の夢は「介護福祉士」になることです。

介護福祉士になって、たくさんの人達の介護をして助けてあげたい。と思い始めたのは小学六年生のころでした。小学生の時、「福祉」について考えると授業がありませんでした。私はその授業で初めて介護福祉士という職業を知り、興味をもちました。

そして、この前の職場体験で私は賀寿園に行きました。介護の仕事を見たり、実際に手伝ったりするのは初めての事だったので、とてもきんちゃんを楽しみました。でも、賀寿園で働いている人達はとてもやさ

しくて、不安でいっぱいだった私は、すぐ職場に慣れることができました。

賀寿園では、色々な仕事を手伝いました。例えば、洗濯物を干したり、たたんだり、食器を洗ったりしました。他にも、お風呂から上がった利用者の方のかみを乾かしたり、くつ下をはかしたりしました。また、おしぼりや布おむつもたたみましました。そして、一番きんちゃんとして、一番楽しかったのは「食事の介助」です。職場体験の三日間、私は同じ利用者の方の介助をしました。スプーンでご飯を口まで運んで食べさせる時に「口を開けて下さい。」と教えてから食べさせました。利用者の方の食事は工夫されていて、離乳食のようにやわらかくなっていました。お茶や牛乳などの飲み物もゼリーのようになっていました。三日目のころには食事の介助も慣れて「おいしいですか。」などいろんなコミュニケーションをとりながら食べさせることができました。

また、手伝いの合間に利用者の方とお話しをしたりもしました。最初は何を話せばいいのか分からず、とてもあせりました。お孫さんのことを

聞いたらうれしそうに話してくれたので、自分もうれしくなり、たくさんのお孫さんの話を聞きました。

利用者の方達はみなさん個性豊かで、介護をしていても楽しかったです。私は今回の職場体験でいろんなことを学びました。そして、あの三日間で一番感動したことは、職場で働くみなさんが利用者の方達を心から大切に思っていることです。

私は職場の方に「この職業をしていて、今まで辛かったことや悲しかったことはどんなことですか。」と質問しました。正直私は介護の仕事の大変さだとかそういうことを答えるんじゃないかなと思っていました。でも、職場の方は「自分の不注意で利用者の方にけがやいやな思いをさせてしまった時。」と答えられました。私はこの返事を聞いて職場の方は本当に利用者の方達を大切に思っているんだなあと思いました。いつも笑顔で接している職場の方を見て、私もこんな介護福祉士になりたいと思いました。

そして介護の仕事を手伝って、一番うれしかったことは、利用者の方達が笑顔に

※作品はすべて原文のまま掲載しております。

なってくれたこと、「ありがとう。」と言ってもらえたことです。介護福祉士は体力と忍耐を必要とする仕事なので働いて大変じゃないわけがありません。でも、その「ありがとう。」という言葉が利用者の方達の笑顔が、職場の人達の励みになっていんだと思います。

私は職場体験で学んだことを忘れずに介護福祉士を目指していこうと思いました。



# 第6回 志布志市福祉絵画コンクール 最優秀賞作品紹介

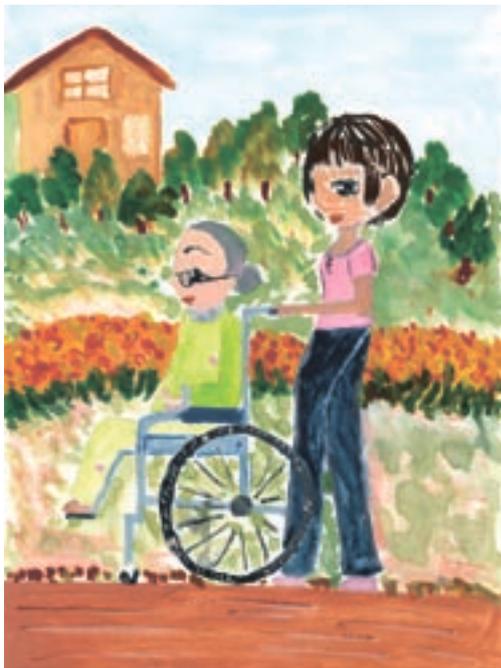
## 最優秀賞 小学生低学年の部



### 「おじいちゃんとかぶつのようちゅうさがし」

志布志市立  
潤ヶ野小学校 1年 新地 和真 さん

## 最優秀賞 小学生高学年の部



### 「車イスにすわっているおばあちゃん」

志布志市立  
志布志小学校 5年 肝付 樹音 さん

## 最優秀賞 中学生の部



### 「ひいばあちゃん」

志布志市立  
伊崎田中学校 3年 野崎 愛理 さん

# 「思いやり基金付自動販売機設置」事業を展開しています

社会福祉協議会では、地域福祉事業の推進・充実を図る上で、自主財源の確保を目的とし、自動販売機設置事業に取り組んでおります。自動販売機を企業に置くことで、そこで働く従業員の福利厚生の一助を担い、飲料水を購入することにより、社会福祉協議会に寄付ができ、その益金で、志布志市内の地域福祉に還元できるといった仕組みの「思いやり基金付自動販売機設置」を展開しております。そこで趣旨に賛同していただく、市内の企業・団体等に自動販売機の設置を呼び掛けております。ご協力よろしく申し上げます。

## ○協力店（企業・団体）



九電工 志布志営業所



帝国倉庫運輸(株)志布志営業所



びろうの樹脳神経外科



自販機写真

設置に関する  
お問合せ先

**志布志市社会福祉協議会本所**  
(志布志市健康ふれあいプラザ)

☎ 099-472-1800 / 099-473-0294  
E-mail : somu1@shibusshi-syakyo.jp

### お詫び

・前号のささえあい第34号に掲載しました「思いやり基金付自動販売機設置」事業協力店の掲載について、【九州電力 志布志営業所】と掲載しておりましたが、正しくは【九電工 志布志営業所】の誤りでした。訂正してお詫びを申し上げます。



サンポートしぶしピアにて

赤い羽根共同募金は「ボランティア団体の活動事業費」としても使われています。

## 赤い羽根共同募金 街頭募金を 行いました!

10月から12月まで全国展開している赤い羽根共同募金運動に先駆け、10月3日(月)に志布志市内の各店舗にて毎年恒例の街頭募金を行いました。

当日は、民生委員やボランティア、保育園・幼稚園の園児達の協力を得ながら、一緒に各店舗にて、街頭募金のご協力への呼びかけを行い、多くの方の善意を頂くことができました。皆さまからご協力いただいた募金は志布志市内において、ボランティア団体の活動事業費、地区社会福祉協議会の福祉活動費等、高齢者や障がい者の在宅福祉の向上のために幅広く活用されます。各店舗をはじめ、多数の参加や募金のご協力をいただき、ありがとうございます。

### ○実施場所 (志布志町)

- ・タイヨー志布志店
- ・サンポートしぶしピア
- ・ニシムタ志布志店
- ・エプロンロード
- ・サンキュー西志布志店
- ・双葉保育園
- ・あゆみ保育園
- ・志布志幼稚園
- ・有明保育園
- ・カトリック志布志幼稚園
- ・安楽保育園
- ・おおぞら保育園
- ・志布志保育園

### ○ご協力いただいた幼稚園・保育園



ミネサキ有明店にて

### ■街頭募金額

(志布志町)	160,849円
(有明町)	67,777円
合計	228,626円

# 地区社協だより

小地域で福祉活動を展開する  
地区社会福祉協議会を紹介します。

## 安楽地区

### 社会福祉協議会

(志布志町)

- ・人口総数 3, 214名
- ・65歳以上の人口 875名
- ・高齢化率 27.2%

(平成23年9月末現在)

私たち、安楽地区社会福祉協議会は、子供から大人まで参加できる活動を通して、安楽地区に住むひとりひとりに「幸せ」を感じていただけるような地域づくりを目指しています。

#### 「ひとり暮らしの集い」

75歳以上のひとり暮らしの方を対象に開催しています。近年は、ボルベリアアグリを利用して、送迎バスで小旅行気分、また普段は交流の少ない自宅から離れた自治会のご友人の方々の交流の機会となっております。多くの関係者のご協力のもと会食、マジックショー・カラオケ・踊り・ビンゴゲームなどで、本年度も、おおいに盛り上がりました。帰りのバスの中では、「楽しかった、また来年に向けて頑張れるよ」、「長生きをせんとね」など、ありがたいうち言葉をお伝えする場として今後も継続したいと思います。



#### 「子供から大人まで」

安楽地区では地元関係者のご協力で、花植え、グラウンドゴルフ大会、地域運動会、古くから伝わる郷土芸能をはじめ子供と大人が一緒に汗を流し交流する機会があります。また、近年は、安楽小学校「おやじの会」と合同で「そば打ち体験」も行っております。

私たちがそうであったように、人が相互に支え合いながら、人として育ち、育てられていくプロセスの場として安楽地区社会福祉協議会が存在し、「この地域で育つてよかった」と思っていただけのような活動を今後にも担っていききたいと思います。

(会長 吉松 弘文)

## 改めて感じる 地域ネットワークの 大切さ

地域での見守り活動をされている方の体験です。  
「見守り事例を通して」

先日、志布志町内のひとり暮らし高齢者のお宅をお尋ねした時のことでした。このお宅には、友達がいとも集まるお宅なのですが、寒い事もあり訪問者はなく静かでした。

玄関を開けて、いつものとおり声をかけますが、返事がありません。トイレかなあとと思いながら、声をかけましたが、やはり返事がないんです。

部屋を見回すと、居間でうつぶせになり吐血しており、弱い弱い声を振り絞って一声、「血を吐いたあ。きてくれてよかったあ。」と、

「大丈夫ですか」と声をかけ、早く救急車を呼ばなければと電話し、救急対応は大丈夫と思っていたのですが、消防署の方が、

「住所は？電話番号は？」  
と聞かれ、パニックになっており自分の記憶は全くあてにならないものでした。

近くの協力員にも手伝いをもらい、やっと冷静さを取り戻すことができ、救急車が到着し、家族へも連絡がつかしました。

この方は、この時間が苦痛と不安と恐怖でいっぱいだったのではないかと、思うと心が痛みますが、見守り活動をしてよかったという安堵感もあります。

地域のつながりである見守り協力員との連携の大切さも感じており、緊急連絡カードの必要性を改めて感じ、早速ご本人へ説明し、承諾をいただき作成しました。

今後とも地域の方々が安心して生活ができる見守り活動をしていきたいと思っております。



#### 「緊急連絡カード」について

日頃のつながりを大切にするために民生委員、地域の協力員の連絡先を記入し、心の安心をお届けするとともに、緊急時の連絡先等が記載された「緊急連絡カード」の整備を地区社会福祉協議会と連携を取りながら進めています。

緊急連絡カード	
氏名	
住所	
電話番号	
緊急連絡先	
119	110
112	472-1111

# 住民参加型サービスの 事業模索 ～役員先進地研修視察～

先般、当法人の地域福祉推進事業をより充実するため、隣県で幅広く事業展開をしている熊本県菊陽町社協に役員（理事・監事）職員で視察研修を行いました。

熊本市に隣接する菊陽町は熊本市内へ通勤するベッドタウンとして新興住宅、企業が誘致され年々人口が増加しており、高齢化率16%と、熊本県内で一番若い町です。一方、市内に隣接するがゆえに、単身で移り住む若者、また一人暮らしの高齢者も多く、様々な問題を抱え、それを打開する事業を幅広く展開し取り組んでおります。

地域福祉活動計画を策定し、困りごととニーズの拾い上げをし、その課題に住民と一緒にいろいろなアイデアを出し合い、何度も話し合いを進めるうちに住民主体となり、何が自分でも出来るのか、と出来ることから事業を作り上げ、その事業の成果が「孤独死防止モデル事業」、「キャロットサービス（住民参加型福祉サービス）」につながり、共生協働のまちづくりを展開しております。

活発にやりとりが行われ、充実した先進地研修でした。



※事業説明  
○「孤独死防止モデル事業」  
ひとりで暮らす高齢者等を様々な機関と連携して孤独死を防ぐ見守りネットワーク

○キャロットサービス  
「住民参加型福祉サービス」  
日常生活において正常に維持することが困難な方（依頼会員）の要望（ニーズ）に有償でお世話をする（協力会員）、住民参加によるサービスを、菊陽町の名物「ニンジン」を名称に取り入れたサービス。

## 日赤奉仕団ふれあい 健康安全教室

日赤志布志市地区志布志町奉仕団（井手元 和子団長）は、去る10月24日志布志市健康ふれあいプラザで70名の奉仕団が集いふれあい健康安全教室を開催しました。

当日は、日赤のハイゼックスを使った炊き出し訓練、災害時における高齢者支援を目的とした家庭看護法の実技講習、鹿児島赤十字病院の医師等が動脈硬化検診を開設し、動脈硬化についても講話を頂きました。



ご苦労さまでと  
団長のあいさつ



ハイゼックスを使った  
炊き出し訓練



毛布を使った防寒着

家庭看護法では、災害時の「このころのケア」の一つで、リラックスマツサージ等、災害時に役立つ毛布を使った防寒服の作り方、風呂敷等で作った持ち運びできるリュックサックなど様々な実技講習を行いました。日頃からこのような講習などを自ら進んで学習勉強し、身につけこれからの災害等が起きても対応できるように奉仕団員の皆さんには頑張っていたいただきたいと思っております。



tan.g



輪多市とは「多くのボランティアの輪と志布志市に広めよう」の意味です。

**困っている人がいたら  
いつでも手をさし出せる  
わたしでいたい！**

志布志市内のボランティア団体の活動を理解し、団体相互が助け合える組織づくり、そして更なる活動の活性化に向けて、各町においてボランティア代表者を開催しました。

交流会では、各団体が活動してよいところや楽しいところ、そして困りごと等、日頃の思いを活発に出してもらうことによって、相互の共通理解をすることができました。

それぞれの交流会で出された意見を下表に集約してみました。

困りごとに対するアイデアが出された交流会もあり、今後、楽しく夢が膨らむ活動を目指して、具体的に話し合える交流会を設けていきます。



開催地	よいところ	困りごと	解決策・アイデア
志布志町 10月25日	人とのふれあい 健康・元気の素 外へ出かけるよい機会 達成感を味わえる	認知症の対応 高齢化・減少 家庭との両立	若い世代の育成 ボランティアの広報 子供達への周知
有明町 9月22日	特徴ある活動 まとまりがある	人数の確保 資金の調達	助成金の活用 物品販売
松山町 10月12日	世代間交流 助成金の活用 地域の輪が広がる	後継者不足 仕事との両立	Vo 同士の交流

断水に負けず…

**尾野見グループが  
ボランティア活動！**

活動場所は松山町の「婦人の家」。9月15日の早朝から始まり、材料を計ったり切ったり忙しくなってきた頃、厨房の様子が一变します。近くの工事の影響で突然水が出な

くなくなってしまったのです。水が出なければ道具も洗えず、何より大量の蒸気を必要とするふくれ菓子が作れません。近くの公民館から車で何度も水を運びながら復旧を待つしかありませんでした。幸い2時間ほどで復旧し、今年も尾野見地区の高齢者や障がいをお持ちの方へ、心のこもった手作りの混ぜごはんとふくれ菓子をお届けすることができました。



**野神地区サタデー広場!!**

10月15日(木)

野神小学校体育館にて行われました。非常食炊出し・手話・車椅子体験・アイマスクの体験をしました。非常食では、「量が難しかったです。」「美味しかったです。」「手話は、「難しかったです。」「車椅子では、「コントロールが難しかったです。」「後ろに行くのが怖かったです。」「楽しかった。又、やりたい。」「アイマスクでは、「怖かったけど支える人がいたから安心だった。」「不自由な人は、こんなに怖いんだなあ。」との感想がありました。

この福祉体験で、とても良い経験が出来たと思います。又、体験してもっと福祉に興味をもってもらえたらと思います。



**そば作り体験しませんか？**

12月27日(火) 8時半～12時

松山町老人福祉センターにて毎年恒例の年越しそば作りを行います。そば作りを覚えることができ、ボランティア活動も一緒にできる活動です。申し込みは左記まで。参加は無料です。(エプロンと三角巾をご持参下さい。)

**私にもできる収集ボランティア**

志布志町出水中学校でペットボトルのキャップを集めています。

直接学校へ届けるか、各支所へお持ち下さい。

**お問い合わせ先**

**志布志市社会福祉協議会**  
(ボランティアセンター)

志布志本所 ☎(472)1800  
有明支所 ☎(474)0310  
松山支所 ☎(487)2001



参加者が集まり健康チェックの後、お茶を飲みながら会話に花が咲きどの方もこのときは主役で輝きながら皆さんに近況報告をしていました。

今回は立ち上がったばかりの弓場ヶ尾サロンの紹介をします。志布町の帖五区に4番目のサロンとして産声をあげ、今回で2回目の集いとなります。

会場は、保育園が隣にある帖五区加工センターの集会場で二集落の参加です。本日の参加者は7名とボランティア7名の参加です。

このシリーズでは、志布志市内の「ふれあい・いきいきサロン」を市民編集員、有馬ケイ子さんの取材の元、紹介します。

## シリーズ ようこそサロンへ!



地域包括支援センターの保健師による健康体操を取り入れたマッサージの実技を、自分の手の平や足、そして身体全体を使い丁寧に施していました。このときは、ただひたすら身体に感謝しつつ手なごころを集中している様子でした。

今日のメインのマップづくりは、参加者もボランティアも地図とにらめっこをしながら色分けをしていました。

最近では隣近所付き合いも以前ほどになく希薄感を受けることもありますが、さりげない見守りを幾度にも重ねてすることにより、一人暮らしの高齢者や昼間一人となる人も安心して暮らせるのではないかと考え、このマップは災害時においても活用できるのではないかと考えたマップづくりでした。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

## ボランティア活動保険

全国170万人  
加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>



### 特徴は

- 活動場所と自宅との往復途中の事故も補償!
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償!
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償!
- 地震など天災によるケガも補償(天災タイプご加入の場合)

### ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

### 福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

### 送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

年間保険料 Aプラン…280円 Bプラン…420円 天災タイプもあります

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、取扱代理店にお問合せください。

お申込み、お問合せは、志布志市社会福祉協議会へ

社会福祉法人  
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763  
(引受幹事保険会社) 日本興亜損害保険株式会社

# 皆様の善意に感謝いたします

## 香典返し寄附金

次の方々より香典返しのお礼に代り市社会福祉協議会にご寄附を頂きました。  
ここに謹んでお悔やみ申し上げ故人のご冥福をお祈り申し上げます。頂きましてご寄附は、志布志市の地域福祉向上のために有意義に活用させていただきます。

(平成23年9月1日から平成23年10月31日まで)

自治会名 寄附者名 物故者名 (敬称略)

### 志布志地区

上之浜	津曲ナツ	故敏郎	大浜東	塩崎清美	故坂元勇	金屋	池田裕実	故裕子	志布志	相川エヒ	故範義	南下町	児島光昭	故奈子	上門	原しげ	故伊三郎	安良	舟井博文	故智江	大原	柚木繁男	故ツギ	昭良	衛藤愛子	故マサ子	安原	本村輝正	故ツヤ	宮脇	平田隆子	故憲四郎	毛野	武石ミツ子	故亨子	中之内	石神吉成	故洋子	柳井谷	坂口多美子	故耕一	仲保町	森元繁秋	故アイ子	大府	春口康子	故国晴	今別	大谷ヨシ子	故繁
-----	------	-----	-----	------	------	----	------	-----	-----	------	-----	-----	------	-----	----	-----	------	----	------	-----	----	------	-----	----	------	------	----	------	-----	----	------	------	----	-------	-----	-----	------	-----	-----	-------	-----	-----	------	------	----	------	-----	----	-------	----

### 有明地区

高下谷	永吉哲	故光子	野吉	山三郎	故トキエ	押切西	中重三郎	故フミ	下都	林重雄	故武雄	下野	石神吉成	故洋子	中山	林重雄	故洋子
-----	-----	-----	----	-----	------	-----	------	-----	----	-----	-----	----	------	-----	----	-----	-----

### 松山地区

鹿兒島市	野間淳一	故ユキエ	通山	寺内サカエ	故重雄	丸岡	丸崎正明	故眞子	蓬原校区	細川あい子	故寅男	押切東	甲斐崎ハルネ	故一美
------	------	------	----	-------	-----	----	------	-----	------	-------	-----	-----	--------	-----

## 物品寄附

次の事業所・団体・個人の方々より市社会福祉協議会にご寄附を頂きました。  
地域福祉向上のために有意義に活用させていただきます。  
ありがとうございます。

### 志布志地区

中大性院 原正春 おむつ多数 (敬称略)

## 東日本大震災義援金

(9月13日～11月11日受付分)  
合計金額：47万8,021円

### 志布志地区受付

- ・志布志みなとまつり実行委員会
- ・合同秋季大運動会
- ・(田之浦小学校校長 宮園氏)
- ・(田之浦校区公民館長 田浦氏)
- ・森山校区公民館森山小学校合同運動会
- ・森山校区公民館
- ・松尾 ミエ子
- ・ヘアーサロンケンジ

### 松山地区受付

- ・市役所松山支所義援金箱
- ・市老人福祉センター義援金箱
- ・(3月14日～11月11日受付分)
- ・これまでの合計金額：1041万2,069円

## 『ふくし川柳』短歌・俳句

募集します。

志布志市社会福祉協議会では、新コーナーとして、川柳・短歌・俳句を通じて、今以上に幅広い年齢層の市民に福祉を身近に感じてもらう、広く福祉に興味を持って頂きたく、募集致します。  
つきましては、左記の募集要項にてご応募下さい。また、投稿総数に応じて掲載させていただきます。

### 応募方法

- ・氏名又はペンネーム、町名を記入
- ・一人二作品まで
- ・ハガキ、郵送、FAX、Eメール

### 応募締切

平成23年12月18日(日)まで

### 掲載について

- ・平成24年1月26日発行「ふくし川柳」第36号に掲載予定

## 実習生受入について

11月8日より、尚志館高等学校より実習生を2名、10日までインターシップとして、デイサービスの事業説明や体験を行い、実習生の感想をいただきましたので紹介いたします。

### 商業科2年 本田佑介さん

今回、志布志市社会福祉協議会に職場体験をさせてもらい、学校では学べない事を沢山教えてもらい、これからの自分を為になり、今回の経験を役立てる仕事に就きたいと思いました。

### 商業科2年 八木優斗さん

インターシップで最初の頃は緊張をしましたが、利用者の方から気軽に話をしてくれて、緊張が和らぎました。志布志市社会福祉協議会で体験ができて本当に良かったです。

**志布志市社会福祉協議会**  
(志布志市健康ふれあいプラザ内)  
〒899-7103 志布志町志布志 3222-1  
TEL: 472-1800  
FAX: 472-1593  
E-mail: info@shibushi-syakyo.jp

## 広報紙「ささえあい」について感想を募集いたします

志布志市社会福祉協議会は広報紙「ささえあい」について皆様からのご意見、ご感想を募集しております。つきましては、左記の宛先までご応募下さい。  
○応募方法 ・ハガキ、郵送、FAX、Eメール  
※電話による応募は致しておりません

**志布志市社会福祉協議会** (志布志市健康ふれあいプラザ内)  
〒899-7103 志布志町志布志 3222-1  
FAX: 472-1593/E-mail: info@shibushi-syakyo.jp

## 心配ごとがありましたら…

～金銭、年金、家族、住宅、ご近所トラブルなど～

12月							1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31				

※日程は変更になる場合があります。右記までお気軽にお問合せ下さい。

### 12月・1月の日程

相談内容等の秘密は厳守します。ぜひ、お越し下さい。なお、相談料は頂きません。

- : 志布志地区 472-1800 (健康ふれあいプラザ内)
- : 松山地区 487-2001 (老人福祉センター内)
- : 有明地区 474-0310 (市民センター内)

### 相談時間

10:00～15:00